

都市・地域レポート2006

平成18年3月

国土交通省都市・地域整備局

はじめに

2005年12月の国勢調査速報値によると、我が国の人口は1年前の推計人口に比べ2万人の減少となり、我が国の人口は減少局面に入りつつあると見られる。大都市部などでは現在も人口増加しているところもあるが、多くの地域で人口減少が進行しており、地方部に行くほどこの傾向は顕著である。今後、人口減少は更に進展していくと考えられ、人口減少社会の到来は各地域に大きな影響を与えると考えられる。

このような中、2007年以降、1947年から1949年に生まれたいわゆる団塊世代の多くが定年退職期を迎えようとしている。

団塊世代の今後の動向については、2007年問題と言われるように社会の注目が集まっているが、少子高齢化が進展していく中、全国の都市・地域づくりを的確に進めていくために、大都市圏に居住する団塊の世代の今後の居住、活動の動向を正確に把握することが早急に求められている。

また、人口増加局面に居住機能の受け皿として急速に宅地化の進んだ大都市圏郊外部においては、地方圏の後を追うように顕在化する急速な人口減少と超高齢化への対応を今後迫られる。

本レポートは、このような時代変化の中で、団塊世代の居住、活動の意向や大都市圏の郊外における状況等について分析を行い、新たな政策立案に反映させていくことを目的として、広く国及び地方公共団体等の都市・地域整備政策関係者の参考となるよう示すとともに、団塊世代の方々やその居住、活動を支援するNPO、地域社会等の参考ともなるよう提供するものである。

具体的には、団塊世代を対象として、今後どのようなところで暮らしたいのか、また、何をして暮らしていきたいのか、居住、活動の意向について分析を行い、団塊世代の移動希望等の実現を図りながら、地域づくりを進める上での対応の方向を示す。また、団塊世代が定年退職期を迎えるにあたり、地方公共団体により行われている取組等を紹介する。

次に、三大都市圏の郊外部における近年の人口・高齢化動向の分析を行い、その特徴を考察する。

さらに、人口減少が進む中、各地域が抱えるまちづくり等の問題に対して先進的に取り組んでいる事例等について、地方整備局等ごとに記述し、巻末には、参考として、団塊世代の意向調査の関連資料等を掲載する。

このレポートが多くの方々に利用され、団塊世代の地域での新たな活躍にささやかながら役立つとともに、団塊世代の地方への展開が地域に新たな活力を吹き込み、今後の都市・地域整備政策の展開に資することを心から祈念する。

平成18年3月

国土交通省都市・地域整備局長

柴田 高博

<目次>

はじめに

序章 団塊世代のライフスタイルの転換と地域へのインパクト	1
1. 団塊世代の高い移動希望	1
2. 団塊世代のライフスタイルの転換	3
3. 団塊世代の移動希望から求められる地域づくりの取組の方向	4
4. 団塊世代の「地域デビュー」への期待	5
第一章 団塊世代の今後の居住と活動	7
1. 団塊世代の動向の社会への影響	7
2. 団塊世代は今までどこに住んでいたのか	8
3. 団塊世代の今後の住まい方、暮らし方に関する意向について	10
(1) 今後の住まい方について	12
① 移住や複数居住したい人（移動希望者）はどのくらいいるのか	12
② どのようなところに住みたいのか	14
③ 希望する移動先	15
④ 居住希望地域と自分との関係	18
⑤ 現在の住まい以外に居住したい理由	19
⑥ 複数居住希望者の意向	21
⑦ 継続居住希望者の意向	22
(2) 今後の暮らし方について	27
① ライフスタイルの優先度	27
② 具体的な暮らし方	27
③ 地域のつきあいや活動への関与	29
④ 今後の仕事	29
⑤ 希望する暮らしの実現に向けての不安	30
⑥ 10年先以降の暮らし方	31
⑦ 田舎のイメージ	33
(3) 別の住まいの検討状況	34
① 具体的な検討状況	34
② 検討に当たっての情報源	35
③ 収集情報	35
④ 別の住まいの内容	37
⑤ 実現可能性	40

(4) 希望する暮らしの実現に向けての課題	・・・	42
(5) 配偶者、子どもの希望との一致	・・・	44
4. 各地域の団塊世代を対象にした取組について	・・・	46
(1) 都道府県が講じている施策	・・・	46
① 移住促進策	・・・	48
② 就農関連施策	・・・	49
③ 地域活動支援策	・・・	50
(2) 市町村が講じている施策	・・・	51
① 北海道函館市	・・・	51
② 福島県川俣町	・・・	52
③ 新潟県上越市、十日町市	・・・	53
④ 島根県雲南市	・・・	54
(3) 地方自治体から見た団塊世代の退職期到来	・・・	55
 第二章 大都市圏郊外部の人口・高齢化動向	・・・	57
1. はじめに	・・・	57
(1) 大都市圏郊外部とは	・・・	57
(2) 三大都市圏の規模と都市構造の違い	・・・	57
(3) 都心までの所要時間による地域分類	・・・	58
(4) 長時間通勤の問題	・・・	59
(5) なぜいま大都市圏郊外部に注目するのか	・・・	60
2. 大都市圏の人口について	・・・	61
(1) 最近の全国の人口動向	・・・	61
① ブロック別の動向	・・・	61
② 人口増加率の高い市区町村	・・・	62
(2) 三大都市圏の人口動向	・・・	63
① 首都圏	・・・	63
② 近畿圏	・・・	63
③ 中部圏	・・・	63
(3) 都心までの所要時間と人口増減の関係	・・・	66
① 首都圏	・・・	66
② 近畿圏	・・・	66
③ 中部圏	・・・	66
(4) 自然増減と社会増減	・・・	68
(5) 三大都市圏における将来人口の見通し	・・・	69
① 首都圏	・・・	69
② 近畿圏	・・・	71
③ 中部圏	・・・	72
④ 三大都市圏郊外部の比較	・・・	72

3. 大都市圏の高齢化について	73
(1) 高齢化率の現状	73
(2) 三大都市圏における将来の高齢化予測	74
①首都圏	74
②近畿圏	76
③中部圏	77
④三大都市圏郊外部の比較	78
4. 大都市圏郊外部における課題と展開	79
(1) 交通手段からみた三大都市圏の課題	79
(2) 大都市圏郊外部の展開	80
 第三章 各地域の動向	 81
1. 北海道におけるコンパクトなまちづくりの推進に関する方策について (北海道開発局)	82
2. 少子高齢化・人口減少局面におけるコンパクトな都市構造を実現するための 総合的方策等の調査(秋田県秋田市を例として)(東北地方整備局)	86
3. 従来型観光地の再生に向けたまちづくりについて(関東地方整備局)	90
4. 歴史と文化を活かした地域づくり(新潟県長岡市)(北陸地方整備局)	95
5. ものづくり文化回廊形成の推進について(中部地方整備局)	99
6. 「持続可能なまちづくりを進めるための市民の指標12カ条」作成の試み (近畿地方整備局)	103
7. 駅と港を結んだ新しいまちづくり(広島県呉市)(中国地方整備局)	107
8. 線引きの廃止、新たな土地利用規制方策の導入による土地利用等の変化の 分析(四国地方整備局)	111
9. 九州新幹線部分開業に伴う効果・影響と地域活性化への取り組み (九州地方整備局)	115
10. 国際通りを中心としたストーリー演出によるまちづくり調査 (沖縄総合開発局)	119
 参考資料	 123
1. 団塊世代の今後の暮らし方・住まい方に関する調査 (アンケート調査)	127
2. 第1章に関する付図	147
3. 「団塊世代の今後の暮らし方・住まい方に関する調査」対象者属性	169
4. 第2章に関する付図	174
5. 都市圏人口増減率、核都市及び周辺市町村の人口増減率 (2004年及び2005年比較)	176

図表索引

序章 (図)

図	2000 年時点における我が国の人口構成	1
---	----------------------	---

第 1 章 (図)

図 1-1	戦後の出生数の推移	7
図 1-2	団塊世代の居住地域分布の推移	8
図 1-3	三大都市圏（1 都 3 県、3 県、2 府 2 県）の団塊世代居住シ ェアの推移	9
図 1-4	東京圏（1 都 3 県）における団塊世代の居住地域分布の推移	10
図 1-5-1	今後 10 年間の希望する暮らし方（三大都市圏）	12
図 1-5-2	今後 10 年間の希望する暮らし方（東京圏、男女別）	13
図 1-5-3	今後 10 年間の希望する暮らし方（三大都市圏、地方出身者）	14
図 1-6-1	現在の住まい以外にどのようなところに住みたいか（東京圏）	14
図 1-6-2	現在の住まい以外にどのようなところに住みたいか（東京圏、 移動希望別）	15
図 1-7-1	どの地方を希望するか（東京圏）	16
図 1-7-2	どの地方を希望するか（大阪圏）	16
図 1-7-3	どの地方を希望するか（中京圏）	16
図 1-8	自分の出身地方への移動希望（三大都市圏全体）	17
図 1-9	「三大都市圏の都市部」への移動希望者の移動希望エリア （三大都市圏）	18
図 1-10-1	居住希望地域と自分との関係（東京圏）	19
図 1-10-2	居住希望地域と自分との関係（東京圏、移動希望別）	19
図 1-11	現在の住まい以外に居住したい理由（東京圏）	20
図 1-12	複数居住希望者の住み分け方（東京圏）	21
図 1-13	複数の住まいに住みたい理由（東京圏）	22
図 1-14	継続居住希望者が今の家に住み続けたい理由（東京圏）	22
図 1-15	継続居住希望者の現在の住まいと自身との関係（東京圏）	23
図 1-16	継続居住希望者の他地域居住の検討状況（東京圏）	23
図 1-17	継続居住希望者の現在の住まいへの満足度（東京圏）	23
図 1-18	継続居住希望者が現在住んでいるところに満足している点 （三大都市圏）	24
図 1-19	継続居住希望者で現在住んでいるところに「非常に満足して いる」と回答しなかった人が現在の住まい以外に居住を希望 しない理由（東京圏）	25
図 1-20	継続居住希望者が仮に暮らしてみるとしたときの暮らしてみ たいところの条件（東京圏）	25

図1-21	継続居住希望者が仮に暮らしてみるとしたときの暮らしてみたいところの最大の条件（三大都市圏）	・・・	26
図1-22	ライフスタイルの優先度（東京圏）	・・・	27
図1-23	具体的な暮らし方（東京圏）	・・・	28
図1-24	地域のつきあいや活動への関与（東京圏）	・・・	29
図1-25	仕事を今後していくかどうか（三大都市圏）	・・・	30
図1-26	いつまで働きたいか（東京圏）	・・・	30
図1-27	希望年収（東京圏）	・・・	30
図1-28	これまでの経験、技能を生かした仕事やボランティア活動を希望するか	・・・	30
図1-29	希望する暮らしの実現に向けての不安（三大都市圏）	・・・	31
図1-30	10年先以降も今後10年間と同じ暮らし方をするか（東京圏）	・・・	31
図1-31	10年先以降違う暮らし方を希望する人の暮らし方（東京圏）		32
図1-32	10年先以降住みたいところ（三大都市圏）	・・・	32
図1-33	10年先以降住みたいところと自身との関係（三大都市圏）	・・・	33
図1-34	「田舎」と聞いて想像すること（東京圏）	・・・	33
図1-35	別の住まいの具体的検討状況（三大都市圏）	・・・	34
図1-36	別の住まいの具体的検討状況（東京圏、移動希望別）	・・・	34
図1-37	検討するに当たっての情報源（三大都市圏）	・・・	35
図1-38	収集情報の内容（三大都市圏）	・・・	36
図1-39	最も重要とする情報（東京圏、移動希望別）	・・・	36
図1-40	情報収集における不満（三大都市圏）	・・・	37
図1-41-1	別の住まいとして希望する住居形態（三大都市圏）	・・・	37
図1-41-2	別の住まいとして希望する住居形態（東京圏、移動希望別）		38
図1-42-1	別の住まいの購入、賃貸意向（三大都市圏）	・・・	38
図1-42-2	別の住まいの購入、賃貸意向（東京圏、移動希望別）	・・・	39
図1-43	購入予算（三大都市圏）	・・・	39
図1-44	賃貸予算（月額）（三大都市圏）	・・・	39
図1-45-1	移動希望者が希望する暮らし方の実現可能性（三大都市圏）	・・・	40
図1-45-2	移動希望者が希望する暮らし方の実現可能性（東京圏、移動希望別）	・・・	40
図1-46	移動希望者が希望の暮らしを実現させたい時期（三大都市圏）	・・・	41
図1-47	移動希望者が希望の暮らしを実現させたい時期（東京圏、移動希望別）	・・・	41
図1-48	希望する暮らしの実現に向けての課題（東京圏）	・・・	42

図 1-49-1	希望する暮らしの実現に向けて行政に解決してほしいこと (東京圏)	・・・	42
図 1-49-2	希望する暮らしの実現に向けて行政に解決してほしいこと (東京圏、移動希望別)	・・・	43
図 1-50-1	配偶者の希望と希望する今後の暮らし方が一致しているか (三大都市圏)	・・・	44
図 1-50-2	配偶者の希望と希望する今後の暮らし方が一致しているか (東京圏、移動希望別)	・・・	44
図 1-51	子どもの希望と希望する今後の暮らし方が一致しているか (三大都市圏)	・・・	45
図 1-52	都道府県から見た団塊世代の退職期到来による影響	・・・	55
図 1-53	市町村から見た団塊世代の退職期到来による影響	・・・	56
第 1 章 (表)			
表 1	団塊世代を対象とした各都道府県の取組	・・・	46
第 2 章 (図)			
図 2-1	都心までの所要時間による郊外部地域分類	・・・	58
図 2-2	平均通勤時間分布	・・・	59
図 2-3	三大都市圏と他の都市圏における平均通勤時間の比較	・・・	60
図 2-4	首都圏人口増減率分布	・・・	64
図 2-5	近畿圏・中部圏人口増減率分布	・・・	65
図 2-6	都心までの所要時間による地域区分ごとの人口増減率	・・・	67
図 2-7	首都圏人口自然増減率 (2000-2004 年)	・・・	68
図 2-8	首都圏人口社会増減率 (2000-2004 年)	・・・	68
図 2-9	三大都市圏の人口動向 (1995-2030 年)	・・・	69
図 2-10	首都圏将来人口増減率分布 (2000-2010-2020 年)	・・・	70
図 2-11	近畿圏将来人口増減率分布 (2000-2010-2020 年)	・・・	71
図 2-12	中部圏将来人口増減率分布 (2000-2010-2020 年)	・・・	72
図 2-13	高齢化率分布 (2004 年)	・・・	73
図 2-14	首都圏将来高齢者人口増減率分布 (2000-2010-2020 年)	・・・	74
図 2-15	近畿圏将来高齢者人口増減率分布 (2000-2010-2020 年)	・・・	76
図 2-16	中部圏将来高齢者人口増減率分布 (2000-2010-2020 年)	・・・	77
図 2-17	代表交通手段の経年変化	・・・	79
図 2-18	年齢階層別代表交通手段	・・・	79
第 2 章 (表)			
表 2-1	三大都市圏における主要都市	・・・	57
表 2-2	2005 年国勢調査 地域ブロック別集計	・・・	61

表2-3	人口増減率(2000-2005)上位30市区町村	・・・	62
表2-4	主要都市における人口増加率(2000-2005)上位3区	・・・	63
表2-5	首都圏将来人口予測	・・・	70
表2-6	近畿圏将来人口予測	・・・	71
表2-7	中部圏将来人口予測	・・・	72
表2-8	首都圏将来高齢者人口および高齢化に関する各種指標	・・・	75
表2-9	近畿圏将来高齢者人口および高齢化に関する各種指標	・・・	76
表2-10	中部圏将来高齢者人口および高齢化に関する各種指標	・・・	78

(注)「団塊世代の今後の暮らし方・住まい方に関する調査」の図表及び関連資料等については参考資料にも掲載している。参考資料目次を参照されたい。